

人権だより

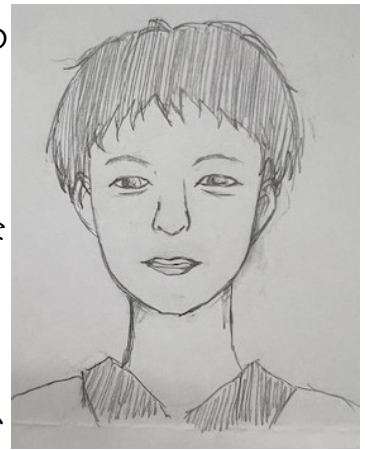
No.327 (2025.9)

『平和への種』

6年4組 田村 啓明

ぼく じんけんいいんかい まいとしなかにわ たね う せかい
僕たち人権委員会は、毎年中庭にひまわりの種を植えて、世界の
へいわ ねが かつどう おこな ねん つづ じんけんいいんかい
平和を願う活動を行っている。もう4年も続いており、人権委員会に
とって、とても大切な活動の一つであるが、大 伯 父 を 太 平 洋 戦 争 で
な へいわ かんが きかい おお ぼく たいせい かつどう
亡くし平和について考える機会が多い僕にとっても大切な活動とな
っている。

ひまわりの種を一粒一粒植えていくという、とても小さくて目立た
ない活動。一見すると、どう平和に貢献できているのか伝わらないか
もしれないし、僕自身も本当にこの活動が平和につながっていくのか分からない部分もある。
でも、僕はこの活動がとても好きだし、誇れる活動だと思っている。日本の古くからの言葉に、
“一粒萬倍”という言葉がある。「一粒の種が実って、万倍の稲となり、恵みや豊かさをもたら
してくれる」という意味の言葉である。たとえ、ひまわりの種一粒一粒がどんなに小さくても、ど
れだけその活動が小さくても、一人一人の思いは小さくても、その一つ一つが稲の穂のように
集まることで、大きな実りとなって、僕たちの世界に平和をきっともたらしてくれるのではない
か、僕はそう信じて、毎年、ひまわりの種の一粒一粒を大切に植えている。そして、花が咲くこ
ろ、中庭がぱあっと明るく、そしてそれを見る皆の表情が明るくなる。そんな瞬間が僕にとって
大きな心の支えになっているし、宇南の平和は実現できているんじゃないか、皆の心の中の
小さな平和への思いの種が実っているんじゃないかと思っている。それだけではない、新聞を
通して僕たちの活動を知ってくださった方々もおられ、どんどん僕たちの平和への思いの種が
広がっているという実感もある。これからもずっと続けていきたいと思った。最後に、僕の好きな
曲の一つである、高橋 優さんの「福笑い」のフレーズを紹介する。『きっとこの世界の共通語
は、英語じゃなくて笑顔だと思おう』世界中の人々が英語を学ぶように、世界中の人々が英語を
話すことができるように、世界中の人々が笑顔になれるような、そんな世界になることを願っ
て、これからも活動していきたいと思う。



【保護者の声】 文章を読んだPTA 人権委員の方の感想です。

9月21日は「国際平和デー」、通称「ピースデー」。国際連合本部では、平和の鐘が鳴らされる。元愛媛県宇和島市長の中川千代治氏が寄贈した鐘には、「世界絶対平和萬歳」と鑄込まれている。世界の共通語は笑顔!!その根源となるのは、宇南の人権委員会が咲かせてくれたひまわりなのかも知れない。世界平和、そして宇南中生の心の平和を願って咲き誇るひまわりを来年もまた見たい。(6年生保護者)

【人権委員の声】

ひまわりが毎年元気に咲いているところを見ると明るい気持ちになります。他の人にも、ひまわりから元気をもらい、笑顔で過ごしてほしいです。そのために、人権委員の活動を頑張りたいです。(3年生 人権委員)

私も人権委員の一人として、ひまわりを育てる活動に参加することができて良かったと思います。開花した花を見て人それぞれ色々なことを思っているのだと思うと、ウクライナとロシア、世界平和を願って始まった活動であるのはもちろんですが、毎年中庭でひまわりを見る人の思いも一緒になって、宇和島南中等教育学校にとってなくてはならない活動になっていと思っています。笑顔には心を安定させ、前向きな気持ちにさせる効果があります。笑顔は世界の共通語だと思って過ごしていきたいと思っています。(3年生 人権委員)

私はこの活動に4年生の時に初めて参加させてもらい、1年経ってまた戻ってきました。ひまわりを植える活動は、小さな一歩なのかもしれないけど、一輪のひまわりが咲くのには3~6年生の人権委員や和田さん、先生方…多くの人の気持ちが込められていると思います。小さな幸せを少しずつ積み重ねていくことが大切だと実感しました。笑顔は私のチャームポイントなので、皆に笑顔を届けられる人権委員になりたいです。(6年生 人権委員)

大きく成長したひまわりと共に…

